

第72回 都民体育大会 春季大会「柔道」競技

日時：令和元年5月12日（日） 午後12時30分

場所：講道館 新館7階 大道場

主催：公益財団法人 東京都体育協会
東京都

主管：公益財団法人 東京都柔道連盟

【大会次第】

〔開会式〕

開会宣言
優勝旗返還
会長挨拶
試合上の注意
選手宣誓

〔試合〕

試合
第1試合場 6試合
第2試合場 5試合
第3試合場 6試合
第4試合場 5試合

〔閉会式〕

成績発表
表彰
閉会宣言

第72回都民体育大会（区市町村対抗）春季大会 「柔道」要項（正式競技）

1. 主催 （公財）東京都体育協会・東京都
2. 主管 （公財）東京都柔道連盟
3. 日時 令和元年（2019年）5月12日（日） 12:30～15:00
4. 会場 講道館（東京都文京区春日1-16-30）
5. 種別 男子
6. 体重測定 当日 10時30分～11時30分まで、講道館 新館2階 第5会議室で行う。
（体重無差別は行わない）
7. 競技上の規定及び方法
 - (1) 国際柔道連盟試合審判規定（2018-2020）で行う。
 - (2) 試合時間 4分。
 - (3) 判定の基準は、「技有」または「僅差」とする。※「僅差」とは指導差2をいう。
 - (4) チームの勝敗は次の順で決定する。
 - ① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - ② ①で同等の場合は「一本勝ち」の多いチームを勝者とする。
 - ③ ②で同等の場合は「技あり優勢勝ち」の多いチームを勝者とする。
 - ④ ③で同等の場合は引き分けの対戦の中から一試合（複数の場合は抽選）をゴールデンスコア方式による代表戦を行う。
（先に「技有」以上の評価を得た選手が勝ちとなり、先に「指導」を与えられた選手が負けとなる。）
 - (5) 区市町村対抗トーナメント方式とする。
8. 参加資格
 - (1) 東京都民（東京都内在住（＝住民票を有する）者）であり、当該区市町村を代表する者で、次のア、イのいずれかの資格を有する者とする。
 - (ア) 当該区市町村に平成31年4月1日以前より在住している（＝住民票を有する）者
 - (イ) 当該区市町村に所在する職場に勤務している者で、平成31年5月1日までに、当該区市町村の体育協会に加盟する競技団体の登録者
 - (2) 次の項目に該当する者は参加を制限する。
 - (ア) 小学生、中学生、高校生、高等専門学校生及び、体育・スポーツのすべての学生連盟（東京学生柔道連盟等）に登録している学生（大学生）は参加できない。（定時制または通信制の高等学校、各種学校の生徒及び通信制大学または夜間大学の学生を除く）
 - (イ) 昭和59年3月31日以前に出生した者は参加できない。

(ウ) 同季大会の他の競技に参加した者は、当該競技に参加できない。

ただし、陸上競技にあつてはこの限りではない。

(エ) 過去において、次にかかげる大会に出場した者は参加できない。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| ① 国際競技会並びに全日本選手権大会 | ⑥ 全国警察大会 |
| ② 国民体育大会 | ⑦ 講道館杯全日本体重別選手権大会 |
| ③ 全日本実業団団体対抗大会(第3部を除く) | ⑧ 全国教員大会 |
| ④ 全日本実業団個人選手権大会 | ⑨ 全日本産業別大会 |
| ⑤ 全国警察選手権大会 | ⑩ 全日本学生柔道大会 |

(3) 健康診断を受け、健康であることを証明された者であること。

9. 参加人員 監督1名、選手3名(73kg以下1名、90kg以下1名、無差別1名)、計4名とする。

10. 順位決定方法

トーナメント方式により1位、2位、3位(2チーム)、5位(4チーム)を決める。

11. 表彰

- (1) 成績第1位のチーム(区市町村)に、優勝旗を授与する。
- (2) 成績第1位から第3位までのチーム(区市町村)に、それぞれ賞状及びメダルを授与する。

12. 申込期限及び方法

(1) 申込期限

平成31年4月3日(水)・4日(木)(※持参受付) / 4月3日(水)必着(※島しょのみ)

(2) 方法

各区市町村は所定の用紙により、地区体育協会長の記名押印のうえ2通作成し、大会会長(大会本部)あてに申込む。

【参加申込書申込み先】 〒150-8050 渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館3F
(公財)東京都体育協会 「都民体育大会」大会本部
TEL 03-6804-8122 FAX03-3465-4311

(3) 申込書の記入方法

自宅住所の欄は、すべてのメンバーの住所を記入すること。なお、当該区市町村在住者は勤務先欄の記入は不要とする。当該区市町村在勤者は自宅住所のほかに、勤務先名と勤務先住所を記入すること。

(4) 申込み後の選手交代は、特別な事情がない限り認めない。

特別な事情で選手を交代する場合は、大会開催日の3日前までに所定の変更届を大会本部に、また大会本部へ提出した写しを大会事務局(都柔連)にFAX(03-3818-5644)にて提出すること。
※なお、ご提供いただきます住所・氏名等の個人情報は本件の目的以外には一切使用致しません。

13. 参加費

参加費は、監督・選手一人に対し、500円とする。

※ 入金後の返金は原則として対応できませんので予めご了承ください。

各区市町村は、全競技一括して、大会本部へ納金(銀行振込)すること。

14. 組合せ 日時:平成31年4月12日(金)

会場:講道館 (監督の出席は必要としない)

15. その他

(1) 参加者全員に対して傷害保険に加入するものとし、費用は1チーム1,300円を当日受付で徴収する。(参加選手は必ず健康保険証を持参すること。コピー可)大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。

(2) 出場選手は着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付けること。(下図参照)所属名は、出場地区名とする。また、ゼッケンを取り付けていない選手は、失格とする。

図1 ゼッケンの縫い付け方

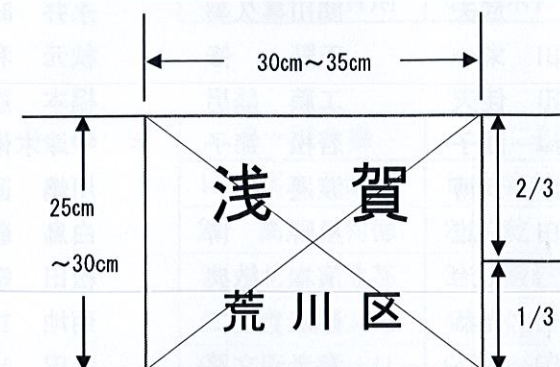
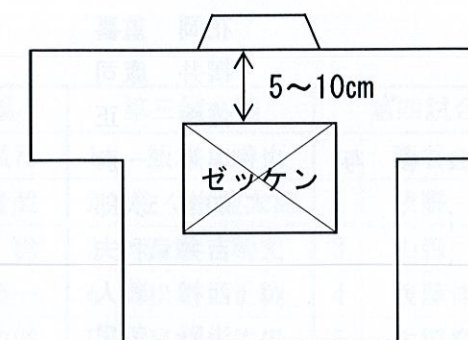


図2 ゼッケンの縫い付け位置



- ① 点線の部分を縫い付ける。
 - ② 図2の位置に強い糸で縫いつける。
 - ③ 名字(姓)は上側2/3、所属名は下側1/3。
 - ④ ゼッケンは白地で書体は太いゴシック(楷書)で黒色。
 - ⑤ サイズは横30cm~35cm、縦25cm~30cm。
- (3) 本大会において優秀な成績をおさめたチームを、全国青年大会の東京都代表候補として、東京都教育委員会に推薦することを検討する。
- (4) 脳震盪対応について
ジュニア(20歳未満)以下の選手および監督は下記事項を遵守すること。
- ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
 - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

【大会役員】

大会会長	鳥海又五郎			
大会副会長	渡辺 軍三	小山 泰文		
大会顧問	大坂 泰	吉澤 清	池谷 邦久	一戸 隆男
	円城寺力男	小林 次雄	高木 志行	長澤 亨
	橋本 昇	浜田 理	原島 久武	福島美智男
	保科 素	上原 義昭	大輪 小次	都築 茂
	池内 隆英	神田 眞虎	小嶋 啓道	小林 潔司
	鈴木 有臣	関 武夫	関川喜久美	永井 昭次
	花岡 重喜	矢田 栄一	天野 修	秋元 利幸
	櫻井 康司	忍田 佳夫	工藤 鉄男	橋本 憲典
大会参与	佐藤 正	梅津 勝子	若松 節子	宇津木俊博
	塩澤 一彦	黒澤 安博	渡邊 建一	川嶋 直司
	加瀬 次郎	長田 好雄	星野 博	白鳥 義輝
	吉井 利夫	平沼 正治	濱本 敏典	松田 幸次
	西村 義人	田代 光恭	砂田 慶二	菊地 雄司
	浅野 哲男	吉田 昌弘	海老沼文尊	森田 光二
	池内 雅胤	川島 一見	内海 章雄	白瀬 英春
	小宮 徳健	高橋 健司	伊藤 述史	浅田 千秋
	落合 俊保	本田 宗哉		
大会委員長	岩淵 公一			
大会副委員長	若井 晃			
大会総務	道場 良久	坂本 恒夫	市島大二郎	
進行係	◎ 蔦谷 豪士	三田 舞乃		
放送係	◎ 前田 城治	黒板 芙岐		
本部記録係	◎ 戸谷健次郎	手塚 蒼依	荒井 玲香	
	1) 曾木 憲一	2) 安田 貴浩	3) 佐藤 光男	4) 石川 慶一
表彰状係	◎ 沖津 大悟			
受付・会計係	◎ 藤枝 健二	矢田 栄一	美馬 貴志	狐塚 仁宏
式典係	◎ 松戸 鶴男	上原和歌子	沼田 和幸	
会場係	◎ 若井 晃	松戸 鶴男	佐藤 洋一	
	大高 秀松	井上 恭夫	小西 洋一	三谷 博和
	根岸 良仁	岡本 昌宜	古林 明	田村 綱基
広報係	◎ 佐藤 陽介	金持 拓身		
救護医	◎ 木田 将量			
救護係	◎ 和田 雅史	杉村 恭司		
接待係	◎ 反中江梨子	須藤 玲加		
大会事務局				
事務局長	安藤 邦明			
職員	前橋 治美	佐々木由美		

審判員

	岩村 衡	審判員係	田中このみ
	第一試合場	第二試合場	第三試合場
①	島村 昌利	① 濱島 正剛	① 小林 繁
2	大川 和也	2 井上 智和	2 千品 洋一
3	池内 隆英	3 鈴木 茂	3 内海まゆみ
4	田中 泰三	4 内海 秀一	4 鈴木 幸浩
5	下村 貴則	5 木目沢哲哉	5 小峰 義次
			① 鈴木 明博
			2 本橋 直司
			3 芝 明朗
			4 小島 孝則
			5 田中このみ

試合場係

	第一試合場	第二試合場	第三試合場	第四試合場
1	高木 知英	1 吉嶋 誠司	1 飯塚 勝也	1 蔦谷 賢人
2	高浪 利徳	2 乾 隆蔵	2 佐々木凌太郎	2 牧野 双葉
3	北川 浩基	3 藪崎 聡	3 斎藤 隆丈	3 山森 敦啓
4	渡邊超太郎	4 佐々木優一	4 松尾 正純	4 後藤伸一郎
5	中水流りり	5 老川 和将	5 早坂 佑馬	5 本郷喜一郎
6	笠川 真尋	6 渡辺 悠花	6 岩切 歩花	6 鮫島 千穂
7	大森 恵花	7 藤原 七彩	7 江波 遥乃	7 藤田菜奈世
8	八木咲愛子	8 伊藤 彩実	8 大山 明莉	8 早坂 麗鈴

試合進行予定表

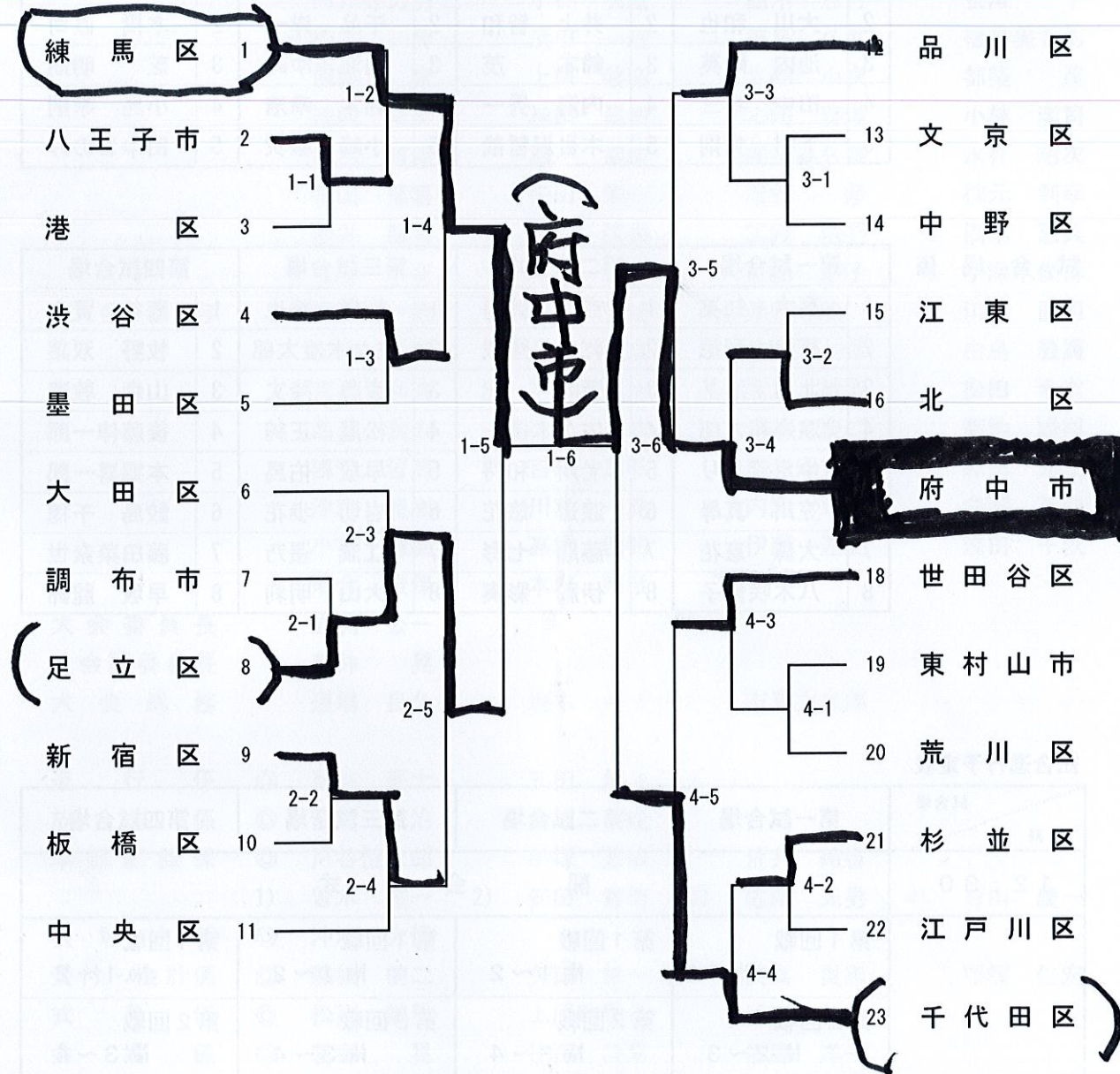
時刻	第一試合場	第二試合場	第三試合場	第四試合場
12:30	開 会 式			
	第1回戦 No. 1	第1回戦 No. 1~2	第1回戦 No. 1~2	第1回戦 No. 1~2
	第2回戦 No. 2~3	第2回戦 No. 3~4	第2回戦 No. 3~4	第2回戦 No. 3~4
	第3回戦 No. 4	第3回戦 No. 5	第3回戦 No. 5	第3回戦 No. 5
	準決勝戦 No. 5		準決勝戦 No. 6	
	決勝戦 No. 6			
14:15				
14:30	閉 会 式			

※ 試合場に変更のある場合は、放送で指示があります。

※ 進行の時刻は予定ですので、参考にしてください。

第72回 都民体育大会 春季大会 柔道競技

令和元年5月12日 講道館



参加選手・監督 一覧表

1 千代田区	2 中央区	3 港区	4 新宿区
監督 中嶋和三郎	監督 佐々木宏次	監督 鈴木 浩二	監督 古田 英毅
大 参 太田 一徹	大 四 青柳 勇輝	大 四 須田 侑也	大 三 小林 大悟
中 参 石崎 匡晃	中 参 天野 力	中 参 砂川 翼	中 参 瀬沼 高
先 参 佐藤 基光	先 三 小野田尚弥	先 三 高木 光貴	先 参 村山 寛
5 文京区	6 墨田区	7 江東区	8 品川区
監督 小倉 茂	監督 泉澤 勝	監督 兼利 幸則	監督 佐藤 陽介
大 五 鶴岡 義明	大 三 菊地 優充	大 三 菅 崇志	大 参 岩崎 雄也
中 五 大澤 利之	中 参 辻村 真志	中 三 木村 魁斗	中 参 矢澤慎士朗
先 四 岩永 憲門	先 三 平松 海	先 参 矢永 元宣	先 四 岩崎 凌
9 大田区	10 世田谷区	11 渋谷区	12 中野区
監督 後藤 晃弘	監督 笠間 一孝	監督 吉富 孝則	監督 高木 志貫
大 三 川上 大吾	大 四 見上 心太	大 三 藤本 健太	大 四 谷 泰朗
中 三 福留 綾太	中 四 石井 康太	中 三 笹川 亮太	中 三 丸山 直樹
先 三 込山 尚輝	先 四 片山 雅文	先 三 深澤 新	先 参 石川幸一郎
13 杉並区	14 北区	15 荒川区	16 板橋区
監督 芹澤 敏光	監督 針谷 泰介	監督 浅賀 大輝	監督 木村 匡聡
大 三 山田 侑弥	大 四 徳丸 慶太	大 三 塚本 行生	大 初 マーティン アナソフ
中 参 丸山 大輝	中 三 渡辺 拓海	中 三 佐藤 奎太	中 三 白川 礼
先 三 鈴木 凜	先 参 大森 拓弥	先 初 高田 雄介	先 三 辰美 慶
17 練馬区	18 足立区	19 江戸川区	20 八王子市
監督 関口 高史	監督 鈴木 伝一	監督 秦 光潤	監督 鈴木 旭
大 参 井上 裕太	大 参 後藤 岳	大 三 矢作 那智	大 参 白川 竜平
中 四 小池 勲	中 参 渋谷 圭吾	中 参 佐達 秀隆	中 初 安田 征弥
先 四 清水 拓真	先 四 安井 素平	先 参 田中 翔	先 参 花上 将志
21 府中市	22 調布市	23 東村山市	
監督 吉永 政博	監督 船倉 英之	監督 中尾 剛	
大 参 竹内 雄大	大 初 飯塚 蓮也	大 参 川口 翔	
中 四 米村 剛	中 三 秀野 健太	中 参 笹 道隆	
先 四 半田 健	先 三 岡田 卓也	先 初 川村 康太	

栄光の記録 No.1

(昭和33年以降)

回数	年 度	優 勝	準優勝	第 3 位	
11	昭和33年	大田区			
12	昭和34年	中野区	品川区	墨田区	
13	昭和35年	北区	板橋区	三鷹市	
14	昭和36年	中央区	足立区	台東区	北区
15	昭和37年	台東区	品川区	世田谷区	墨田区
16	昭和38年	豊島区	台東区	板橋区	
17	昭和39年	〈オリンピックの為、中止〉			
18	昭和40年	豊島区	板橋区	台東区	
19	昭和41年	台東区	中央区	豊島区	世田谷区
20	昭和42年	台東区	田無市	中央区	
21	昭和43年	練馬区	台東区	大田区	
22	昭和44年	台東区	練馬区	江東区	
23	昭和45年	江東区	練馬区	葛飾区	
24	昭和46年	中央区	台東区	板橋区	練馬区
25	昭和47年	板橋区	品川区	杉並区	練馬区
26	昭和48年	板橋区	大田区	台東区	北区
27	昭和49年	小平市	東村山市	港区	江戸川区
28	昭和50年	小平市	台東区	練馬区	田無市
29	昭和51年	台東区	田無市	墨田区	中央区
30	昭和52年	中野区	西多摩郡	北区	板橋区
31	昭和53年	練馬区	板橋区	北区	足立区
32	昭和54年	練馬区	墨田区	府中市	世田谷区
33	昭和55年	練馬区	武蔵野市	府中市	板橋区
34	昭和56年	世田谷区	江東区	大田区	板橋区
35	昭和57年	練馬区	千代田区	世田谷区	葛飾区
36	昭和58年	目黒区	世田谷区	町田市	中央区
37	昭和59年	府中市	豊島区	千代田区	杉並区
38	昭和60年	板橋区	品川区	世田谷区	中野区
39	昭和61年	品川区	墨田区	板橋区	練馬区
40	昭和62年	港区	墨田区	千代田区	大田区
41	昭和63年	千代田区	墨田区	港区	目黒区
42	平成元年	千代田区	北区	調布市	目黒区
43	平成2年	千代田区	八王子市	練馬区	目黒区
44	平成3年	千代田区	練馬区	世田谷区	江東区
45	平成4年	千代田区	練馬区	江東区	墨田区

栄光の記録 No.2

回数	年 度	優 勝	準優勝	第 3 位	
46	平成5年	練馬区	港区	墨田区	渋谷区
47	平成6年	千代田区	町田市	荒川区	板橋区
48	平成7年	千代田区	板橋区	練馬区	江戸川区
49	平成8年	江戸川区	練馬区	八王子市	港区
50	平成9年	豊島区	港区	墨田区	江戸川区
51	平成10年	葛飾区	豊島区	江戸川区	八王子市
52	平成11年	新宿区	板橋区	葛飾区	中央区
53	平成12年	港区	墨田区	練馬区	千代田区
54	平成13年	港区	八王子市	千代田区	葛飾区
55	平成14年	府中市	港区	北区	世田谷区
56	平成15年	八王子市	千代田区	北区	世田谷区
57	平成16年	八王子市	練馬区	北区	江戸川区
58	平成17年	目黒区	練馬区	新宿区	千代田区
59	平成18年	練馬区	江戸川区	八王子市	板橋区
60	平成19年	江戸川区	世田谷区	練馬区	板橋区
61	平成20年	世田谷区	練馬区	新宿区	失格
62	平成21年	世田谷区	練馬区	八王子市	千代田区
63	平成22年	荒川区	千代田区	世田谷区	杉並区
64	平成23年	練馬区	荒川区	八王子市	府中市
65	平成24年	新宿区	練馬区	港区	府中市
66	平成25年	練馬区	八王子市	港区	大田区
67	平成26年	府中市	世田谷区	荒川区	練馬区
68	平成27年	府中市	世田谷区	練馬区	荒川区
69	平成28年	千代田区	世田谷区	墨田区	練馬区
70	平成29年	千代田区	墨田区	練馬区	世田谷区
71	平成30年	練馬区	千代田区	品川区	豊島区
72	令和元年				